

珍珠地区供養盆踊り大会

8月15日、初盆家と珍珠地区遺族会の皆様方にご出席いただき、今年で21回目の珍珠地区供養盆踊り大会が「くすふれあい公園」で開催され、午後7時30分から、初盆を迎えられた方と戦没者の法要式典が行われました。

主催の「盆踊り大会実行委員会」を代表して日隈久美男委員長が「初盆を迎えた個人の方と戦没者の供養になる盆踊りにしましょう。」と挨拶。来賓を代表して宿利政和珍珠町長、濱田洋大分県議会議員よりご挨拶をいただきました。

続いて、珍珠地区盆踊り保存会の皆さんの太鼓と口説きに合わせてお馴染みの「ヨイトナ」「マツカセ」で踊りが始まり、「千本づき」「サバの寿司」と続き、今年で最後の参

加となる「チーム珍珠中」を含む、様々な衣装を凝らした団体9組（82名）と一般の皆さんの参加で、会場には大きな輪が広がりました。

焼鳥・生ビール・かき氷の販売もありました。

審査員特別賞団体

- スポンジボールテニス
- 今村本家
- 長野組

審査員特別賞個人

- 野口リリオ様

参加団体

- 今村本家
- 珍珠地区盆踊り保存会
- 更生保護女性会
- 樟楠会
- スポンジボールテニス
- チーム珍珠中
- 塚脇老友クラブ
- 長野組
- ひめゆり会



多くの方にご参加頂きました

景品等の提供

- トキハイндаストリー様
タオル150本
 - 菅田新光堂様
ティッシュ等36個
 - HIヒロセ様
菓子50人分
 - タケウチ生花店様
生花一对
 - サツポロビール様
うちわ200本
- ご協力ありがとうございました。

塚脇地蔵講

今年で130周年を迎えた塚脇地蔵講が8月24・25日に開催されました。

明治21年から始まった塚脇地蔵講は、流行りの疫病から地域住民を守る願いをお地蔵さんに託し、野菜や粘土など身近な材料を使った「見立て細工」を作ったことから始まりました。

なお、塚脇町内各所にはお地蔵さんを祀り、供養しています。



コミュニティ有志が初参加！
ザギトワ選手に贈呈された秋田犬の「MASARU♀」



錦町下
「さるかに合戦」



優雅な「山路踊り」

塚脇町内の自治区や小学校・子ども園など14団体の皆さんによって時事的要素を反映して作られた見立て細工は、どの作品も見事な仕上がりで、訪れた見物客は足を止めて作品に見入っていました。

また、コミュニティ女性部のみなさんが「山路踊り」を披露し、優雅な一時となりました。

全ての見立て細工をホームページに掲載しています。
ぜひご覧ください！